

令和6年度

「運営に関する計画」

最終反省（案）

大阪市立佃中学校

令和7年2月

大阪市立佃中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

学力・体力の向において、チャレンジテスト・チャレンジテスト plus では、おおむねすべての教科において大阪府・大阪市平均を前後していたが、学年により一部、成績が振るわない教科があり、指導内容等を早急に改善する必要がある。全国体力・運動能力、運動等習慣調査では、男女とも全国平均を上回る種目が多く、着実に体力の向上が見られる。

保護者、地域の協力と教職員の日々の地道な実践の積み重ねで、生徒の規範意識は高く、落ち着いた環境で学校教育活動に取り組んでいる。一方で、不登校生徒の増加が本校の課題であり、保護者、関係諸機関と連携を取り、模索しながら個々の生徒に寄り添う指導に努めている。生徒の豊かな心の育成のためにも、学校教育活動を通じ、人を思いやる心など自尊感情をさらに高めたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】****基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現**

1. 令和 7 年度末の校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を、85%以上にする。
2. 毎年度末の校内調査において、不登校生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
3. 令和 7 年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。

基本的な方向 2 豊かな心の育成

4. 令和 7 年度末の校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、71%以上にする。
5. 令和 7 年度末の校内調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、71%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】**基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上**

1. 令和 7 年度の校内調査の「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的に答える生徒の割合を 35%以上にする。
2. 令和 7 年度中学校チャレンジテストの平均正答率 2 割以下の生徒を、いずれの学年も令和 3 年度よりも 5 ポイント減少させる。
3. 令和 7 年度の大阪市英語学力調査の中学校卒業段階での C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を、70%以上にする。

基本的な方向 5 健やかな体の育成

4. 令和 7 年度の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 70%以上にする。
5. 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和 3 年度より 0.1 ポイント向上させる。（※全国平均を 1 とした割合）
6. 規則正しい生活を身に付けている生徒の割合（「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合を令和 7 年度調査において 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 6 教育D X (デジタルトランスフォーメーション)の推進

1. 令和 7 年度末には授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 75%以上にする（ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日を除く）

基本的な方向 7 人材確保・育成としなやかな組織づくり

2. 令和 7 年度末には年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 60%以上にする。

基本的な方向 8 生涯学習の支援

3. 令和 7 年度末の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、76.5%以上にする。

基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

4. 令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和 3 年度より 10 ポイント増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

1. 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 85%以上にする。
2. 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度（6.35）より減少させる。
3. 令和 6 年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。
4. 令和 6 年度末の校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、66%以上にする。
5. 令和 6 年度末の校内調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、66%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

1. 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 35%以上にする。
2. 中学生チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
3. 中学生チャレンジテストにおける数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
4. 大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 68 %以上にする。
5. 年度末の校内調査における「運動 体を動かす遊びを含む やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 55%以上にする。
6. 令和 6 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和 5 年度（男子 42.06、女子 48.11）より 0.1 ポイント向上させる。（※全国平均を 1 とした割合）
7. 規則正しい生活を身に付けている生徒の割合（「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合）を令和 6 年度調査において 76%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

1. I C T の活用に関する目標
授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする（ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日を除く）
2. 教職員の働き方改革に関する目標
年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 50%以上にする。
3. 令和 6 年度末の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、61%以上にする。
4. 令和 6 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、前年度より 2 ポイント増加させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

1、3、4の年度目標において、おおむね指標を上回っている。（「年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析」欄参照）次年度は、本年度の取組を検証し問題点や改善点を共通認識し、現在行っている生徒への働きかけや組織的対応を改善し、より個々の生徒の状況に応じた指導を丁寧に行い、さらなる向上を目指す。

2、5の年度目標において、指標を若干下回った。（「年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析」欄参照）本年度の取組を検証し問題点や改善点を共通認識して、次年度は指標を上回るよう計画的に取り組みを実践していく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

1、5、7の年度目標において、おおむね指標を上回っている。（「年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析」欄参照）次年度は、現在行っている生徒への働きかけを改善し、さらなる向上を目指す。

2、3、4、6の年度目標において、指標を若干下回った。（「年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析」欄参照）本年度の取組を検証し問題点や改善点を共通認識して、次年度は指標を上回るよう計画的に取り組みを実践していく。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

1の年度目標において、指標を下回った。（「年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析」欄参照）本年度の取組を検証し問題点や改善点を共通認識して、次年度は指標を上回るよう計画的に取り組みを実践していく。

2、3、4の年度目標において、指標を上回っている。（「年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析」欄参照）次年度は、現在行っている取り組みを検討し改善して、さらなる向上を目指す。

(様式 2)

大阪市立佃中学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>1. 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 85%以上にする。</p> <p>2. 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度 (6.35) より減少させる。</p> <p>3. 令和 6 年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。</p> <p>4. 令和 6 年度末の校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、66%以上にする。</p> <p>5. 令和 6 年度末の校内調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、66%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容 1 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ (いのち) について考える日の全校集会での講話を実施する。 ・命や人権の尊さを道徳、性教育等の授業等、様々な行事や取組を通じて、自尊感情を高め、自身とともに他者も大切できる集団づくりに努める。 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度末の校内調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」項目に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 85%以上にする。 	
<p>取組内容 2 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や専門的な関係諸機関と連携し、生徒一人ひとりに合った対応をすることで、不登校生徒を減少させる。 	C
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度 (6.35) より減少させる。 	
<p>取組内容 3 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p>	A

・生徒が主体となる避難訓練を年間2回実施する。 ・生徒会が全校生徒に対して、身近な地域の防災教育を実施する。	
指標 ・令和6年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。	
取組内容4【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・授業、学校行事、部活動において所属感を感じ、達成感をもてるような取組を実践する	A
指標 ・令和6年度末の校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答を66%以上にする。	
取組内容5【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・特活、道徳、総合的な学習、キャリア学習において、全学年で夢や目標につながるきっかけになるような取組を実施する。	C
指標 ・令和6年度末の校内調査の「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的な回答を66%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容1について ・5月13日の「いじめ・いのちについて考える日」に全校集会で講話を実施した。 ・毎学期末にいじめアンケート、2学期に教育相談を実施した。また、全校生徒に大阪市のLINE相談、一人一台端末の相談機能を周知し活用し、いじめの早期発見と対応に努めている。 ・SNS関係のトラブル未然防止として、西淀川警察と企業と連携し、4月に1年生を対象に、また、12月に全校生徒を対象にスマホ安全教室を実践した。 ・「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」の項目に対して、肯定的な回答は98.1%であった。 ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」の項目に対して、 肯定的な回答は92.6%であり、指標である85%以上を上回った。	
取組内容2について ・スクリーニング会議Ⅰ、Ⅱを学期ごとに実施し、区役所、SSW、SC等と密に連携し、一人ひとりの課題に応じた対応を検討、実践している。現在、サテライト（2名）、子ども自立支援アシスト（2名）を利用している。また、今年度より校内にSSRを開設し、不登校生徒の学ぶ環境、居場所づくりに努めている。現在7名の生徒が利用している。 ・1、2学期末に、全校生徒にアセスアンケート（学校適応感尺度）を実施し、その結果を分析、一人ひとりに状況に合った対応について検討する校内研修会を2回実施した。 ・ 今年度、不登校生徒の在籍比率は7.05であり前年度（6.35）より若干増加しているが、同一生徒について、一人ひとりにあった居場所づくりの取組で、昨年度より登校日数は増加している。	

取組内容 3 について

- ・生徒の防災意識と自己肯定感の向上を目的とし、今年度より、防災教育の年間指導を計画し、避難訓練を実施している。西淀川区役所の地域支援課と連携し、能登半島地震の講話、1月17日に区役所、青空財団と連携し防災出前授業を実施した。今年度、地域のジュニア防災リーダーが発足し、生徒会がその取組に参加している。今後は有志を募り、活動を広めていく。
- ・校内研修として、西淀川警察署と連携し、不審者の侵入対応についての防犯訓練を実施した。
- ・「自助」「共助」を一つのテーマとし、防災教育に取り組んでいる。その成果もあり、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という項目で、**肯定的な回答は 97.6%であり、指標である 80%以上を上回った。**

取組内容 4 について

- ・1年生の一泊移住、3年生の修学旅行、体育大会、合唱コンクール、文化発表会など、子どもが個々、集団での役割を明確に意識し、それぞれが達成感をもてるような取組を実践した。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、**肯定的な回答は、78.9%であり、指標である 66%以上を上回った。**

取組内容 5 について

- ・キャリア学習として、2年生では職場体験、3年生で進路学習を実施した。また、1年生では、楽しみながら職業観、勤労観を学ぶことをねらいとして、江崎グリコの出前授業を実施した。
- ・**将来の夢や目標を持っていますか」の項目について肯定的な回答の割合は 64.7%であり、指標である 66%以上をわずかに下回った。**

次年度への改善点

取組内容 1 について

いじめの課題について、今後も、様々な取組を継続し、未然防止教育に取り組んでいく必要がある。

取組内容 2 について

不登校の課題については、学年が上がるにつれ、集団に不適應を感じることで増加する傾向がある。アセスの客観的なデータも活用しながら、それぞれの課題に合った対応を学校だけではなく関係諸機関とも連携して改善に努める。

取組内容 3 について

防災教育について、区役所等の地域との連携が、今年度大きく進んだ。今後もリーダー層の育成を目指し、自己肯定感と他者を思いやるこころの成長を目指して取り組んでいく。

取組内容 4 について

子どもたちが個々に、やりがいや達成感をもてるような学校・学年行事を実施し、自己肯定感を育み、集団の所属感に安心できるような集団づくりに努めていく必要がある。

取組内容 5 について

キャリア学習について、今後さらに、地域と連携し、地域の特色を活かした出前授業や職業講話を実践していく必要がある。

(様式2)

大阪市立佃中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>1. 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を35%以上にする。</p> <p>2. 中学生チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>3. 中学生チャレンジテストにおける数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。</p> <p>4. 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を68%以上にする。</p> <p>5. 年度末の校内調査における「運動 体を動かす遊びを含む やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。</p> <p>6. 令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和5年度(男子42.06、女子48.11)より0.1ポイント向上させる。(※全国平均を1とした割合)</p> <p>7. 規則正しい生活を身に付けている生徒の割合(「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合)を令和6年度調査において76%以上にする。</p>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容1 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>・学校生活全般(道徳・各教科、学級活動や委員会活動)において、ペアやグループで話し合う活動を積極的に取り入れ、周りの意見に耳を傾け、自分の思いを言葉で表現できる機会を作る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・令和6年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を35%以上にする。</p>	B
取組内容2 【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】	

<p>・国語科において、チームティーチングを状況に応じて行い、積極的に I C T を活用し、わかりやすい授業実践に取り組む。</p>	C
<p>指標</p> <p>・令和 6 年度の中学生チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</p>	
<p>取組内容 3 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>・数学科において、I C T を活用した授業展開、チームティーチング、放課後等の時間を利用した学習会を行い、基礎の定着と学力向上を図る。</p>	C
<p>指標</p> <p>・令和 6 年度の中学生チャレンジテストにおける数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</p>	
<p>取組内容 4 【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>・英語科において、I C T の積極的な活用のほか、チームティーチング・分割授業・習熟度別授業を状況に応じて行い、英語でのやり取りや発表を通して、基礎の定着と自己表現力の育成を図る。</p>	C
<p>指標</p> <p>・令和 6 年度の大阪市英語学力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学校 3 年生の割合（4 技能）を、68%以上にする。</p>	
<p>取組内容 5 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>・保健体育科を中心に、体育的行事も含め授業を充実させ、運動に対する興味関心を高める。昼休みにはボール貸し出しなどを積極的に行い、運動に接する機会を増やす。</p>	B
<p>指標</p> <p>・令和 6 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 55%以上にする。</p>	
<p>取組内容 6 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>・保健体育科の授業（体育的行事を含む）を通して体力全般を高め、特に課題である全身持久力、筋力及び筋持久力の記録を向上させる。スポーツテストの際には、全国平均を明記し、生徒自ら目標を明確に設定し、その目標を超えられるようにペア学習などを用いて実施させる。</p>	C
<p>指標</p> <p>・令和 6 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和 5 年度（男子 42.06、女子 48.11）より 0.1 ポイント向上させる。（※全国平均を 1 とした割合）</p>	
<p>取組内容 7 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>・心身ともに健康であるためには、規則正しい生活習慣が大切であることを、食育や「ほけんだより」などで発信し、また、保健委員会等の活動で生徒主体での取り組みを通して自ら健康課題に気づき、改善する自己管理能力を身につけられるように指導する。</p>	B

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を身に付けている生徒の割合(「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合)を令和6年度調査において76%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や各教科の授業、道徳の授業において、対話的な活動を多く取り入れるようにすることで、校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合が35.1%で、指標である35%以上を達成した。 <p>取組内容2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年でTTを実施し必要な生徒に適宜、支援を行い、ICTを用いた授業を展開し、授業内容の定着を図ったが令和6年度の中学生チャレンジテストにおいて3年は前年度より1.1ポイント下降していて、指標である「いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる」を達成できなかった。 <p>取組内容3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年でTTを実施した。また、単元によって、デジタル教科書などのICTを用いた授業を展開し、定期テスト前や夏季休暇中に、学習会を開き、学習内容の復習や基礎の定着を図ったが令和6年度の中学生チャレンジテストにおいて3年は前年度より1.9ポイント下降していて、指標である「いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる」を達成できなかった。 <p>取組内容4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを積極的に取り入れ、授業だけでなく家庭学習においてもタブレットを用いた調べ学習や音読学習・反復練習を実践した。また、すべての学年でTTを実施し、生徒の習熟度に応じて個々に関わり、フォローしていくことで、基礎基本の定着を図った。3年生では習熟度別授業も展開したがCEFL A1レベルを有する3年生の割合は51.1%であり、指標である68%以上を達成できなかった。 <p>取組内容5について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合は57%で、指標である55%以上を達成した。 <p>取組内容6について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度(男子37.51、女子49.93)で、男子は指標を4.56下回り達成できなかったが、女子は1.81上回り達成できた。 <p>取組内容7について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育通信と保健だよりの発行や、生徒保健委員会の活動で毎月目標を立て、啓発を生徒自身で行う場を取り入れていることで、令和6年度調査において、肯定的な回答をする生徒の割合は76%であり、指標である76%以上を達成した。 	

次年度への改善点

取組内容 1 について

・各教科や道徳、学級活動や生徒会・委員会活動において、生徒主体の話し合い活動を可能な限り取り入れた。生徒が自分の意見を述べ、他の意見をしっかり聞くということが習慣化され、個々の能力向上につながったと考える。

取組内容 2 について

・国語科では、全学年で T T を実施した。次年度への改善点としては、さらに効果的な I C T の利用方法を考える必要がある。

取組内容 3 について

・数学科では、全学年で T T を実施し、一人一人の学力に応じた指導を適宜行った。また定期的に補習を実施することで基礎学力の向上を図った。次年度は、総合的読解力育成につながる教材研究を進め、各学年で実践していくことを課題とする。

取組内容 4 について

・今年度実施した学習実践を分析し反省を踏まえたうえで、学力向上に向けた個に応じた指導と計画的な習熟度別授業を来年度、展開していく。

取組内容 5 について

・肯定的な回答全体（「好き」、「どちらかというと好き」）としては、少し低い結果となったので、学年間の交流を高めるとともに、運動・スポーツにかかわる機会を増やすようにする。

取組内容 6 について

・男女の運動能力に見合った補強運動の量や、実施種目の強度を考える必要がある。

取組内容 7 について

・今後も「ほけんだより」や「食育通信」での啓発や生徒保健委員会の取り組みをさらに充実させ、規則正しい生活習慣を確立できるようにする。

(様式2)

大阪市立佃中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 学校園の年度目標 1. ICTの活用に関する目標 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日を除く) 2. 教職員の働き方改革に関する目標 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。 3. 令和6年度末の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、61%以上にする。 4. 令和6年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、前年度より2ポイント増加させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容1【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ICT委員会を中心に、教員向けの校内ICT研修を実施し、GoogleWorkspaceやChromebookを活用した学習活動を推進する。	C
指標 ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日を除く)	
取組内容2【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】 ・ICT機器を活用して、成績処理、提出書類等事務作業の効率化を進める。SSSの協力により印刷業務等の効率化を図り、業務時間の短縮を推進する。行事・会議等を、簡略化及び廃止を含めて見直しを進める。	B
指標 ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。	
取組内容3【基本的な方向8 生涯学習の支援】 ・生徒にとって魅力ある本が読める環境を作り、学級文庫などを設置し、朝の読書の時間を充実させる	B
指標 ・令和6年度末の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、61%以上にする	
取組内容4【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】	

<p>・ホームページなどで地域や家庭に、学校生活や行事などの活動や成果を発信していく。</p>	B
<p>指標</p> <p>・令和6年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、前年度より2ポイント増加させる。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容1について</p> <p>ICT委員会を中心に、GoogleWorkspaceやChromebookに関する教員向けの校内ICT研修を実施した。授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の約40%で、指標である50%以上を達成できなかった。</p> <p>取組内容2について</p> <p>ICT機器やSSSを有効活用することで、業務に関する負担を軽減する環境を整えた。また、学校閉庁日を夏季休業期間中に4日、夏季休業期間以外に1日（冬季休業期間中）設定したことで、指標である年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を、1月現在で50%以上にすることができた。</p> <p>取組内容3について</p> <p>全学年で朝読書に取り組み、文化委員による図書館便りの発行や、学級文庫の設置を行った。令和6年度末の校内調査の「読書が好きですか」項目において肯定的に答える生徒の割合が指標である61%を上回った。（好き：37.3%、どちらかといえば好き：34.2%）</p> <p>取組内容4について</p> <p>ホームページ、学年通信等で地域や家庭に、学校生活や行事などの活動や成果を発信したすることで、肯定的に答える保護者の割合を指標で「前年度より2ポイント増加させる」を達成することができた。</p>	
次年度への改善点	
<p>取組内容1について</p> <p>次年度は、今年度の反省を生かし、目標を達成できるような研修の充実を図っていきたい。</p> <p>取組内容2について</p> <p>次年度も継続して、ICT機器の活用やスクールサポートスタッフの協力体制を進め、効率化を図り、業務時間の短縮を推進し、学校閉庁日の設定を増やすことで、教職員が年次有給休暇を取得しやすい環境を整えていく必要がある。</p> <p>取組内容3について</p> <p>令和7年度末の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、76.5%以上にできるよう、継続して本年度と同様の取り組みを推進していく。</p> <p>取組内容4について</p> <p>来年度は、地域が課題ととらえている防災活動に学校として積極的に参加することで、学校、家庭、地域の3者が連携して活動していることを保護者に認知してもらい、肯定的にとらえる保護者の割合を増やしていきたい。</p>	

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立佃中学校学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】
学校の年度目標
年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】
学校の年度目標
年度目標：【学びを支える教育環境の充実】
学校の年度目標

3 今後の学校園の運営についての意見

--